夕刊
磐城新聞
二月一日發行
定價 一部金五錢 一ケ月金六拾五錢（郵税拾五錢）
廣告料 普通 金六拾錢 特別 金九拾錢（五號十二字詰一行一回）
編輯印刷兼發行人 柏木 哲　福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八〇五六五五番

天氣豫報　小名濱測候所發表
今晩も明日も北西の風晴

厄年を危く經過して
濱崎善三郎

（二）

へこたれぬこと、どんなやさしい戒名ならば、子等や孫達が何處へ行つても、何時でも、思ひ浮べて心の中で念じもし、温めても與れませう。それで私は澤山です、本望です。

四十五年の私の既往を回顧するとき、運もよかつたらうが、兎に角へこたれずに闘つて來たつもりである。王陽明の言葉をかりて云へば　山中の賊にはやらで、大方は私自身の心中の賊との闘であります。今後の心構としても『へこたれぬ』どうも之より外はないと思ふ。

然しへこたれぬとは思ふものゝ、云ふものゝ、唯手を拱いて、氣ばかりへこたれぬぞと强がつてゐては、それでは、すぐにへこたれるにきまつてゐます。

へこたれぬ爲に、惡戰苦闘、最後の最後まで勇敢に戰ひぬくより外はない。

あの三十年の昔、天草灘の舟遊びのとき、もう駄目だと思ひ、前途に一縷の望みもなかつたが、最後まで懸命の努力で漕いだ。内心あきらめながらも、友達を叱咤しつゝがんばつたが、このがんばつたが爲に、舟が沖合に流されるのを或程度迄喰ひ止め、それこそ思ひもうけざる颱に出現して來た、わが大ぞんの舟に遭遇して、間一髪、眞に奇蹟的に助かるを得たのである。これが最初からもう駄目だ々々と、力漕も努力もせずに泣き叫んでゐたら、とうの昔、私達の命はありません。世の中は萬事、こんなもんではないでせうか。

そりや人間ですから、長い一生の間には失敗も後悔も澤山ありますよ。然し過去を悔むも詮なく、又將來を憂ふるも益はない。周圍を見廻はす必要もなければ他人と比較することもいりません。唯與へられた運命と思ふて甘受する、いさぎよくあきらめる一方には、その運命を踏み越えて進軍

草の芽
○△生

畑のすみに
こつそりまいた
かわいい種が
青い芽を出した。
何といふ草か
どんな花が咲くか
父さまも知らぬ
母さまも知らぬ。
僕だけ知つてるよい草だ

2月2日

△大不列顛國最初の議會（一、八〇一）△關東大地震千五百名餘人死す（嘉永六）△支那のクーデター斷行（昭和一一）△林内閣成立（同一二）

訪馬上先生于文理科大學
珠堂 小野務平

講授多年專育英
始終一貫蹟分明
聯翩千百俊髦出
令擧隆々天下鳴

講談
髑髏組（どくろぐみ）
(104)　林杢兵衛作　金子士郎畫
誘ひの罠（四）

『然らば、こうして如何で御座る』

權十郎が根負けをして口を切つた。

『今夜の仕事一度だけ、お手傳ひ下さらぬか。さすればあとは貴公の御自由』

『ねえ旦那、そ、それならば御座んせう？生命を救はれた御恩返しに、一度だけと仰有るんです。義理にもこれは斷れねえぢや御座んせんか、ねえ旦那、どうぞ、あつし共を不憫と思つて、御承知なすておくんなせえまし』

勘太と小六は、我身可想さうに、懸命となつて口説いた。

『是非もない。其方達にも隨分世話になつたなう』

刑部は、重たげにうなづいた。

『では、あの、御承知下さるか？』

權十郎は、確かめるやうに念を押した。

『如何にも……だが、一度だけで御座るぞ』

『それで結構。では早速仕事の手順をお話致さう』

その言葉に、壁の銃口が引んで、同時に窓が閉つた。その以前に、我等一黨の者をお引合せ致しておかう。此方へ』

權十郎は立ら上つて、一方の壁に近づいて行つた。と――その壁がどう云ふ仕掛けになつてゐるのか音もなく左右に開いて、其處に三尺位巾のある階段が現れた。

『あッ！』

驚く三人を尻目にかけた權十郎

『こちらへ……』

促すやうに階段を上つて行く。勘太と小六は固く刑部の手に縋つて、その後に續いた。

それを七八段上ると、其處からは階段と同じ巾の細長い廊下になつてゐる。左右は壁で、相變らず薄暗く、トンネルのやうな感じがする。それが四五間で、突き當つたところに開き戸がある。權十郎はそれをトンと輕く押し開けて、

『此方へ』

同じ調子で三人を見返つた。其處はまるで世界が變つたやうに明るい、數奇を凝らした綺麗な座敷だ。

そうして出處には、權十郎の配下と思はれる千差萬態に異る十三四人が控へてゐる。どれもこれも一癖ありさうな面構へ。中には延命院裏の土堤で、刑部に足剝ねられてトンボ返りをした男も居れば、蝙蝠長屋へ捕手を案内して來た易者も居る。約半數は刑部の眼に見覺えのある筈。その外、虛無僧、醫者、坊主、浪人など、料亭如月へ集る俳句會の連中だ。そう云へば此の座敷、これも確かに如月の離れ座敷だ。

刑部は、權十郎から引合されて、一同を見渡した時、此の南岳當に視線を止めて愕然とした。が幸か不幸か先方がそれと氣が附かないらしく、素知らぬ顔だ。

こうして引合せが濟み、次に決められた今夜の仕事の手筈だ。

權十郎が嚴かに口を開いた。

『では久し振りに今夜は町方、傾町の信濃を襲撃することに定めやう』

『えッ、ぢやア例の花嫁事件の相手方……』

下座に控へた虛無僧が、危な氣に、眼を三角にして問ひ返した。

『さうだ。讀みつこなしでいゝぢやないか』あの事件ではまつたく娘に氣の毒をした』

『な、なアる程、さう云へばまアさうで御座んすね。何んでも信濃屋は相當たんまり持つてゐると云ふ話しで御座んすよ』

『だから目を附けてゐたのだ。が流石日本橋區内、茂十の警戒が嚴重だからなア』

『さうで御座んすよ』

虛無僧がもう一度眼を丸くした。

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊羹（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豊間……辨天羊羹
◎各種 一本 十錢
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店

一、レンタン
一、豆炭
各種特價販賣
薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス。
電話三三七番
平驛前 阿部石炭店

平市田町
高久病院（電話五三一番）
内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽濟
藥劑士 佐竹菊雄
（看護婦至急募集）

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
三七年型フォード
入庫いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

和洋
建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御務め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。

皮膚科 泌尿器科 性病科
專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

ニッポン。魚は凍魚
日本水産特約
平製氷會社
電二二八・三三六番
甘鯛 エビ マナ 白魚 帆立貝 ワカサギ ウニ貝焼
ヒノマル凍魚
平市四丁目 魚問屋
電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

チフス豫防第一
恐ろしいチブス菌も
三共製内服ワクチン（大人用二十錢 小人用二人分）服んで安心
皆様御用意ありますか。若しなかつたら今スグ四十四番へ御電話下さい早速御屆け致します
（但し舊平市内だけ）
平市古鍛冶町一〇（驛社の下）
阿康藥局

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社特約店
福島縣平市支店一丁目（電話六十一番）
關彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店
茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話二三七番
茨城縣多賀郡關本驛前 電話大津一四七番
福島縣四倉驛前 電話平潟五四番
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名濱）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所 電話八二四番）

外科、内臓外科
エツキス光線科
新設 產婦人科
院長 安齋徹
醫學士 黒澤廣
平市田町
安齋醫院
入院隨意
電話四七五番

お醤油は……ヤマフル
味噌 醤油
たひら正宗
鰹節 食料品
問屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

旅館 大幸館
私は平市出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
電話下谷㊥六七七番
主人 比佐棟雄
東京上野驛前 下谷郵便局横通角

晝夜診療
内科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
胃腸性病科 松村醫院
（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

平みやげ米やの最中
尚一層風味と品價を吟味致しまして御客様を御待ち致して居ります。
平市五丁目
米屋最中專門店
電話（呼）二九〇番
ナンヨーソセイ散
南洋蘇製社平代理店

晝夜診療
外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
平市新川町（電四六四）
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
（血液検査毎日）
イツデモ入院デキマス。

好き景品を目指して 曉天の街に潮の群衆
無風好晴の天候に惠まれて今二日賑ふ

前夜來の雨に祟られて悉皆台無しとなつた去年のそれとは異つて前日から折紙を附けられた好天候の今賣り初めは一天晴れて風爛々、料峭の春にあるまじき駘蕩の文字を使ひ度い位である。時局柄幾分消極の豫想が行はれた人出は、深夜零時と云ふにトップを切つて、二時―三時―四時。朗々たる雞の聲に東天漸く白み初むる頃には、大体町の買手が出揃ひ、本町通りは早くも夥しい人渦を捲いた。臨時に急設した高燭電燈がパツと消ゆるのをつきかけの様に八方の人出も加速度的に加はつて街は人、人、人の氾濫である。赤や黄の向ふ鉢巻きに大、中、小各店頭が客の吸收に聲を嗄らす中を買つたバケツを其儘入れ物にシコタマ買ひ込んだ人が行く、背負ひ籠一杯に早や歸りがけの人が來る。大道商人に群がる人の山に女子供は後ろから垣間見る事も出來ない程の凄まじい賑ひ振り温い陽ざしを浴びた羽子板、破魔弓の色彩も何となく春らしく、福引當籤の鈴音高く今二日市は刻々賑ひ續けてゐる（正午記）

平日の二倍 忙しい平驛

平日の二倍近くに上つた平驛に降りた人は午前十一時現在四千五百二十名で昨年より千百三十二名增、

平營林署 立木公賣

平營林署では來る十六日午前九時から署內に於て永戸村大字下永井字井澤地內所在クヌギ、ナラザツ、クリ等の生立木八十七立方米の公賣を行ふが正午締切り、即時開札、入札及契約保證金共見積代金百分の十であると

小名濱の 工場移轉 解決
包み金で妥協成る

小名濱町松の中地內日本水素工場敷地內にある水野德次郎氏經營の水產工場と比佐與平氏經營の魚粕工場移轉問題は交涉途上で暗礁に乘り上げ成行きを注目されてゐたが小野町長其他の斡旋で此程關係者が立會ひ、日本水素では水野氏の第二工場を四千圓乃至五千圓（包金）で買收比佐氏の工場は二千五百圓で移轉することに圓滿解決した

義父と主人に食はれ 十七娘のドン底流轉
其筋でも同情自廢許可

小名濱町北村芳藏二女和子さん（一八）は東京本鄕區駒込神明町藝妓屋若松家こと佐伯トミエ方で小菊と名乘つて左褄をとつてゐたが『親と抱主に虐待されて立つ瀨がない』から助けて下さいと神田區神保町救世軍本部に泣き込んだ、和子さんは實父の顏も知らず、戀しい母親の住居すら判らない薄倖な女である。事の起り――父親の北村は人力車夫で親方の部屋に居た時和子さんの母長田あきさんが其部屋に飯たきに行つて芳藏と知り合つて以來夫婦關係を結び和子さんを連れ子にして芳藏方に嫁入りしたものであつたが芳藏は昭子さんを小學校にも入學させず十歲の時子守奉公に出され十四歲の時植田町藝妓家小柳家に賣られてゐた其後十五歲の四月深川區石島町二〇四高橋大次郎と稱する牛島人に借金の代償として引取られて上京揚句の末十六歲の三月淺草區千束町二丁目藝妓家松千草に五百圓で賣飛ばされて藝者になり稼いでゐた其間にも高橋の家賃が半ケ年も滯つてゐて明渡を受けるから百圓を都合して呉れとか或は小遣をせびり小娘が絞れるだけ絞つた上十七歲の七月前記の藝妓家に住替えさせたもの一日の休みもなく小柄な和子さんはこの勤めに耐へ兼ね再三主人に休養を迫れどても客を取る樣強制されるのに居たゝまれず本月二十日救世軍本部に救ひを求め自由廢業の手續を駒込署に差出し二十六日許可された目下花柳病治療中であるが芳藏や牛島人高橋や藝妓屋の主人にいじめ拔かれた和子さんは救世軍の親切さに人のなさけを初めて知つたと感泣してゐる

近藤東鐵總務部長來平

東京鐵道局總務部長近藤順三氏は管內初巡視のため一昨三十日午後三時十七分着で來平、平驛を初め檢車區、機關區、保線區等を視察、住吉屋本店に一泊の上昨三十一日歸京した

新豫算編成着々進む けふ縣下四市に指示

平市の十三年度新豫算は既報の如く各種小委員會に附議、警備費の如きは先進地視察に基いて目下着々編成を急いでゐる、縣でもこれが編成期に際しさきに市町村長を平市會議事堂に招集『銃後施設を加味』して種々指示したが更に今二日は福島市役所に縣下四市の關係者として平市からは伊藤助役、酒井主事が出席編成上の指示方針を聽きいよ〳〵最後のお膳立を整へることゝなつた

然して平市の新豫算のうち一般會計は平商新築費八萬圓の繰のべ計上等を合し大位その額五十三萬圓位に上るらしく、社會課の新事業と目されてゐる公設質屋等は特別會計として計上されるものである 更にこれに伴ふ戸數割其他諸稅の賦課率は縣の方針である『十二年度程度に止むること』に基いて目下充分考慮されてゐる

林大將講演 概要（七）
廿五日夜第三校で

◇戰爭が長びけば、平素重しとなつてゐた人迄が皆第一線に行き、後は家でも學校でもしつかり押へをする人がゐなくなつて生徒の風が惡くなる、少年の風も惡くなる、といふ具合に非常に國民全体の風紀が亂れ士氣が衰へる場合がある、私は戰爭が長びくと、さういふことになりはせぬかと心配してゐる一人である。また貧困者救濟なども當然起つて來る問題で、ヨーロツパ戰爭のときなどはドイツのベルリンの中央にカード階級の救濟所が設けられ義勇隊が出動して給食した例もあつた

◇それから長期戰の場合は銃後の手不足に伴つて『食糧の欠乏』なども忘れてはならない大きな問題なのである、これは云ふまでもなく『農』の力が不足すると當然起る現象である、幸ひ我が國などは海產、農產とも豐かであり、それに國民全体が農業方面に深い理解を持つてゐるから、さうした心配は決してないであらうが――兎に角國內の物資缺乏は戰爭國の大きな問題の一つである、ヨーロッパ戰爭のときなども果してこの惱み『パンの缺乏』が生じ一戸當りその頭數によつてパンの消費高も一日何斤と割當てられた程で、これがために幼な兒は榮養不良に陷つてしまひ、多數の死亡者を出したといふ悲慘な問題までも惹起したのである

安東で死ぬ心算
自殺行の元赤井村助役 朝鮮で發見さる

赤井村矢野淸市（四六）は二十九日夜十一時五十五分新義州通過の列車で北行中平北警察移動班に擧動不審の故を以て引下されたが取調の結果前記赤井村の收入役を勤めてゐるものと判り去る昭和五年から十二年六月末までに公金千五百圓を横領しこれを資本に材木屋を始めたが思ふやうに儲らず横領の事實發覺のため去る二十五日自殺を決意して家出したものと判明 同人は東京及び連絡船で自殺を仕損つたので安東で死ぬつもりであつたと申立てゝゐる

吉田入山所長病む
世にも涙ぐましい 全從業員の平癒祈願

入山坑務所長吉田宗雄氏は過般來病氣の爲め炭礦附屬病院に入院加療中の處一兩日來病勢捗かに革まり昨朝來再起を疑はるゝに至り、本社から渡邊專務、太田理事が急遽來山したが同時に入山自治會では緊急幹部會を開き協議の結果所長の醫療に就ては人事を悉くした今日神佛の加護にすがるより外無いと云ふ事になり同會代表二名が同日午後三時成田に向け出發九時成田着九時半を期して平癒祈願の水垢離を取ると同時に爾餘の幹部二百名は夫々手分けの上湯本町附近の各神社佛閣に平癒祈願を籠め、更に山元全職員は職員合宿前に全山三千の從業員は各區廣場に集合の上前記成田行きの代表二名が同夜九時半不動尊に於て水垢離をとる時刻を期して合掌遙かに回春の一日も早からん事の熱禱を捧げたが所長の其後の容態は昨日午後以來幾分好轉し今朝は從來に無く服藥且つ少量の重湯を攝取したとかで之儘引續き順調に推移する樣療後を看護されてゐる

行倒

冷雨降る三十日夜七時頃市內長橋町地內新川端に行倒れ男を附近民が發見平署で調べた內鄕村御殿佐藤泰雄（二七）と判つた、同人は多少精神異狀者で直に親元渡し

內鄕の強盜

好間村上好間梨子小屋番人樋口米太郎（六三）は昨卅一日夜知人の內鄕村高坂火葬場人夫佐藤榮七（六三）方に泊り同夜中附近にあつた兇器（ナダ?）を揮つて榮七に斬りつけ、格鬪瀕死の重傷を負はせ金三圓を奪つて逃走、間もなく捕はれた、平署で原因取調中

陣中を聽く（78）
病みつかぬが不思議 泥手で握り飯を食ふ
市內白銀町出身 淸水幸造君（信通）

――自分達の最初に參加した戰は羅店鎭の眞南約二里牛新木橋、老陸宅、三家村、馬家屯の陣地戰でした 敵は地の利を得、優秀な兵器を持つた正規軍、之に突擊する友軍、〇〇又〇〇約一ヶ月續きました 自分達は塹壕の中に生活です、食事は後方から送られる鹽むすび、水は一日水筒が二人で土塗れの手で食ふのです、煙草などは思ひも寄らず晝は眞夏の樣に暑く夜は眞冬の樣に寒い、病氣にならないのが不思議な位 毎日〳〵の〇〇隊無事で歸つたとて泣き戰死したとて泣く戰友、戰ならでは見られぬ圖でした 空爆にも砲擊にも一歩も退かなかつた頑強な敵兵も十一月十二日から退去し初めた、之を追擊する友軍、一日に或は十里或は三里と毎日〳〵の追擊戰、遂に十二月〇日江陰の要塞を、十二月〇日鎭江城を、十二月十三日敵の首都南京城に攻め入りました。更に進擊（略）今日に至つて居ります。

追擊戰に移つてからは（略）生活して居ります豚などは毎日〳〵二十名で一匹當て食つて居ります 今の處彈の音も聞かず作業もなく呑氣な生活です、南京米で餅の準備も門松の準備も終つて來る新年を迎へることになりました。競技部の子供逹御厄介になつて居ります、第一校の鈴木君が指導されて居るそうですが尙は御指導下さる樣願ひます。學校長の死も今となつては淋しい氣持ちです。齊藤先生、前松先生にも逢ひました、柴崎先生、永島先生も元氣で北支に活躍の事と思ひます（後略）

十二月三十一日

猛射ものかは 一歩も退かぬ友軍
木村守江軍醫通信

――〇〇月三日以來敵前第一戰線守備となり夜も日も分たぬ敵の射擊に一歩も引かぬ友軍の奮鬪遂に敵の總退却となり〇〇月十三日午前〇時三十分からは追擊戰となり日中となく夜となく追擊に追擊を加へ時に夜中の一時過ぎ迄も行軍し或時は〇〇鎭や〇〇鎭のトーチカを有する敵の堅壘をはふり前進逐に去る〇〇月二日午前九時には〇〇縣を完全に占領し又十時四十分には要塞地帶に（略）三十サンチ以上の堂々たる六十有餘の砲台を有する〇山を占領致し候而かもこの地は小生（略）身を忘れ一番乘りをやり日章旗をかゝげし地と思へば何となく親しまれ候 友軍將士何れも健在に候故御放念下され度く候（略）國民一致して外交問題に御努力あられんことを願上候

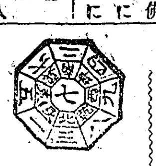
平市南町 大和田醫院 電話一七〇番

簡易ノ金融 磐城無盡 趣味ノ貯蓄 出張所縣內各町

廣告

東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館 鑑定

▲一白 人の世話事は斷り得らるゝだけ斷るが利し▲二黑 多少の損れ折はありとも自然の收穫あるべし▲三碧 實力を顧みず過大なる事に手を出せば失敗▲四綠 獨斷にて事を處する時は失敗目上に謀るべし▲五黃 物事急には運ばされども末遂ぐる平和の日▲六白 投機業を除きての外は何事も進んで吉き日▲七赤 守るよりも進むを先きとすべき日旅行は凶▲八白 內輪に事なき樣和合を主とすれば吉になる▲九紫 幸運に向ふ日心圓滿なれば尤も早かるべし



舊正月三日 水曜 乙丑 先負 建 軫宿 新二月二日

二日（小名濱測候所發表） 滿潮 前六、〇五 後五、一五 干潮 前一一、五〇 後

代理店 魁文堂
雲州神國印ソロバン 優勝印高級ソロバン ニコ〳〵印高級ソロバン ドジョ帳簿・ライカ帳簿 ウエル萬年筆 ライトインキ ムツソリイニペン ゼネラル、カーボン紙

銀なべ 牛鳥 豚汁 串カツ ◎珍味御試食願上ます チンヤ式食堂 靜かなお座敷 平市三田小路 一の井 電一六七

根本產婦人科專門醫院 （手術室完備）（入院隨時） 平市南町五二 根本莊次郎 根本貞雄 電話三四番

東北の銘釀 特撰 銘酒 心氣陶然 平市三丁目 上總屋商店 電話七三一番

生花教授 池ノ坊 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。 平市四丁目和泉屋旅館 須藤まつの

入學生募集人員
本科（修業年限二ケ年）五〇名
技藝科（修業年限二ケ年）五〇名
專攻科（修業年限一ケ年）二〇名
各科二年 補欠入學生 若干名
課外教授 本校生徒ハ希望ニ依リ左記科目ノ習得ガ出來マス
タイプライター 將來職業婦人タラントスルモノ
琴、生花 家庭婦人トシテノ準備
ピアノ 音樂研究ヲ志スモノ
洋裁 洋服裁縫ヲ研究セントスルモノ
『タイプライター』修得者ハ本校ニ於テ就職ヲ斡旋致シマス
文部大臣認可 平陽女學校 平市揚土小路二十番地 電話四四五番 振替口座仙臺五六八二番